



SESERAGI-MISHIMA  
ROTARY CLUB  
WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2011~2012年度 RI会長 カルヤン・パネルジー  
RIテーマ REACH WITHIN TO EMBRACE HUMANITY ころの中を見つめよう、博愛を広げるために

クラブテーマ「会員同志の職業を理解し出来ることはし助け合おう」会長 渡邊照芳  
副会長 太田政人 幹事 山田定男

第1085回 例会  
2012.4.6

司会:石井和郎君 指揮:久保栄子君  
ロータリーソング「四つのテスト」

事務所 三島市中央町4-9 小野住理中央ビル2F  
TEL. 055-976-6351 FAX. 055-976-6352  
<http://www.seseragi-mishima-rc.jp>  
せせらぎ三島ロータリークラブ 検索  
例会場 ブケ東海三島  
TEL.055-984-0120  
毎週金曜日 第1・第3夜間例会

## 会長挨拶

会長 渡邊照芳君



本日は、望月保延君の職業紹介をさせていただきます。望月君は、(有)望月新聞堂の代表で新聞の書籍販売を行っております。

望月さんは、大学を卒業後NET今のテレビ朝日に就職

しましたが昭和50年お父さんが交通事故にあい、お亡くなりになりテレビ朝日をやめ25歳の時お父さんの跡を継ぎ今の仕事に入りました。突然の転職と言う事で仕事の引き継ぎもなく準備もないまま最初の頃は何も解らず同業者にお客を取られ、当時約2000件のお客さんがあったが毎日10件から20件のお客さんを取られ、このままではやっていけなくなるのではないかと思ったそうです。しかしその事が逆にバネになり、又回りの人に助けられ、そして函南町の人口の増加と言う事もあり今では、お客さんの数も当時の約4倍の約8000件にもなりました。しかし、この仕事は、年に何回かの休刊日以外休みのない仕事であり自分が入った時は、それがあたりまえで、厚生面でも他の業種に比べ遅れておりそれらを改善し、保険・週休2日と、厚生面を会社組織にしました。当初は従業員も手取りが少なくなると反対の声もありましたが今では喜んで受け入れてもらっております。この仕事に入って35年経ちますがその中で思った事は、「がんばらないけど、あきらめない」

それは、最初の頃は、何もわからずがむしゃらにがんばってきた、なんでうまくいかないのか思いながらここまで来た。それはあきらめなかった事、そして自分達の仕事は、8000件のお客様に新聞を配達する事、自分一人では配達することは出来ないそして、配達に従業員でも出来る仕事である。自分でなければ出来ない事は何かそれはマネージメントであり会社全体の事を考え、将来の方向性をつけてやる事ではないか、今はだんだん若い人の活字離れがしている中で、三島から湯ヶ島まで10件の同業者と連携を

取り情報ネットワークの組織を作り、配達ネットワークの活用をしていきたい。そして自分達の8000件のお客さまに一日二回の配達業務を通じて、お年寄りや子供達の安全、お客様の異変、不審者の発見などに気を配り必要に応じて自宅や公共機関などに、連絡を行い地域の皆様が安心して暮らせる街づくりに協力出来る、地域安心サポートセンターを作っていきたいと言っておりました。

望月さんと話をしている、望ちゃんらしいなと思いました。がんばっているが、頑張っている事を人に見せない、つらいが、辛い事をみせない。望月さんの仕事は、地域に密着し、地域の事が良く解る仕事だと思います。是非これからも地域の安全の為に、朝も夜も貢献して下さいをお願いします。

## 出席報告

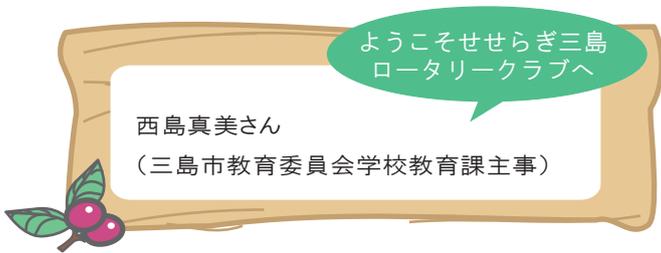
	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	15/34	44.12%	24/34	70.59%
今回	32/34	94.12%	会員総数	35名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

岡君、米山君

## 幹事報告

幹事 山田定男君

- 4月15日~16日にかけて、東日本大震災復興委員会の呼びかけで、大槌町へ今後の支援について、話し合うため兼子委員長はじめ11名の会員の皆様に行っていただきます。
- 4月20日には三島西RCの創立40周年の式典があり、当クラブより16名が参加いたします。参加者は、石井司・太田・片野・兼子・澤田・田中・中村・中山・服部・矢岸・山口辰・山田・山本章・米山・渡邊君です。次週より受付にて登録料1万円を基金させていただきます。



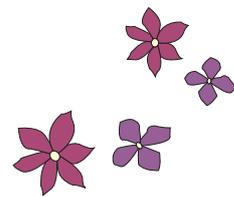
## スマイルボックス

小林 勝君:町内の役員会があるため早退させていただきます。申し訳ありません。

澤田 稔君:米山社長に大変お世話になり有難うございました。本日の卓話を鈴木政則さんに代わって頂きありがとうございます。

鈴木政則君:澤田さんの代わりに卓話をするようになりました。

西原克甫君:長い間お休みを頂き申し訳ありません。スマイルします。



**おめでとう**

会員誕生日	4月10日	杉山順一君
入会記念日	3月4日	西原克甫君

## 卓話

鈴木政則君

社交ダンスで美しく踊るには立ち方が大事です。

みぞおちから下が足と意識をして動いたらボディがスムーズに動くようになりました。足をどう考えるかですが、足は普通胴体の終わり脚の付け根から足だと我々は考えていました。しかし、みぞおちから下が足であると、考えて足を動かして見ますと、まるで今までとは違う動き方になります。みぞおちで足を吊っている状態になると、骨盤全体を使い、左半身と右半身に分けて足を出す様になりませんし、背筋や腰もすっきりと伸ばして使う事になります。

胃から下が足なのですから、当然足全体の筋肉だけでなく腰の筋肉や腹筋も無理なく使って歩く様になります。そうやって歩いてみると、歩幅は大きくなるが、膝や腰の負担が驚くほど減り、身体全体でゆったりと動く感じになります。動く姿にも自信がついて、足も長くスタイルも良く見えます。身体の使い方は、走る事だけでなく歩く、座る、立ち上がるなど、ごく日常の動作に応用できて身体に負担をかけることなく歳を取っても柔軟で強い肉体を維持する事ができます。

みぞおちから足にするには、足を勝手に動かしては駄目です。みぞおちから足が吊られている状態で、みぞおちから操作が始まりその動きを足に伝えて行くのです。

